



### No 2784

2015-2016年度

会長 中元耕一郎

幹事 上野山栄作

R広報委員長 児島 良宗

# 有田

担当：脇村副委員長

第2640地区  
 例会日 毎週木曜日 12:30  
 例会場 紀州有田商工会議所6F  
 事務所 〒649-0304  
 有田市箕島33-1  
 紀州有田商工会議所2F  
 有田ロータリークラブ  
 Tel (0737) 82-3128  
 Fax (0737) 82-1020  
 創立 昭和34年6月15日  
 ホームページ  
<http://www.1a.biglobe.ne.jp/aridarc/>  
 e-mail aridarc@kdt.biglobe.ne.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

テーマ



世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

### 本日のプログラム

平成28年6月9日 第2785回

- ・会員卓話：江川 正文 君  
「創業して20年さまざまな出会い、そして今思うこと」
- ・ソング：「我らの生業」

### 前回の報告（第2784例会）

開催日 平成28年6月2日(木)

点 鐘 (中元会長)

ビジターの紹介 (橋爪(誠)親睦活動委員長)

ゲスト：檜畑 直尚 君(和歌山RC)

ビジター：董 涛 君(米山奨学生)

### 米山奨学金授与



6月分の米山奨学金が中元会長より董涛君に授与されました。

会長の時間 (中元会長)

5月28日(土)から6月1日(水)まで開催された韓国・ソウルでのロータリー国際大会の開会式に出席してきました。当クラブの上野山栄作幹事が26日(木)から現地入りし、登録手続き等、様々な準備を完了してくれていました。

テーマ



奉仕の理想車を走らせよう!!

Let's drive your ideal car of the service!!

### 次回のお知らせ

平成28年6月16日 第2786回

- ・委員会活動報告の発表
- ・ソング：「それでこそロータリー」

10名のメンバーと3名の奥様方の総勢13名の一行でした。

まず国際大会に先立ち5月28日(土)には、RI2640地区主催のジャパンナイトに出席し、小沢元RI理事も参加され、2640地区がさらに良い地区になるようにと励ましのメッセージを頂きました。



翌日29日(日)の国際大会開会式では、RI会長のラビン・ドラン氏が2016年度の規定審議会のことなどについてお話しされ、次に国連事務総長・潘基文(パン・ギムン)氏の挨拶がありました。ロータリーの人道的活動に感謝の辞を述べ、ポリオ等の活動を今後もお願いする旨のスピーチがありました。

今回国際大会開会式に参加し、こんなにも世界には多くの同志がいることを実感し、同時に勇気付けられました。また、こんなにも多くの世界中のロータリアンが頑張っているのだから、我々もさらに頑張らなければと強く感じました。

### 幹事報告 (上野山(栄)幹事)

- 1.ガバナー事務所より、PETS 地区研修・協議会記録CDとロータリー米山記念奨学会DVD「ひろがれ！人づくりの輪」が届く。
- 2.福井ガバナーエレクト事務所より、2016-2017年度ロータリー財団地区補助金申請についての書類が届く。  
(松村会長エレクトへ)
- 3.有田市役所より、有田川クリーン作戦の案内が届く。  
(脇村次年度社会・青少年委員長へ)
- 4.他クラブ週報 田辺ロータリークラブ (後方掲示)
- 5.例会変更 (後方掲示)

委員会報告

\*国際奉仕委員会(嶋田(崇)委員長)

5/28～5/30、会員10名と夫人3名、計13名でソウル国際大会に参加。参加者:中元、松村、石垣、上野山捷、橋爪正、脇村、橋爪誠、橋本、井上、嶋田崇、石垣夫人、上野山捷夫人、橋爪正夫人。大会はソウル郊外にある巨大イベントホールKINTEXで開催され、エンターテイメント性の高い趣向で始まり、会場内ロータリアンはその素晴らしい内容に圧倒された。なお、同時通訳の翻訳機を上野山幹事さんが手配してくれてたのが非常に役立った。余った時間はソウル市内観光や美味しい韓国料理に舌鼓を打った。本当に思い出に残る国際大会でした。



\*SAA(中村SAA)

本日よりクールビズを実施しておりますが、6/30の最終例会と7/7の初例会はネクタイ、上着着用をお願いいたします。

\*次年度クラブ奉仕委員会(中村委員長)

先週も連絡しましたが、6/23例会終了後、次年度クラブ奉仕委員会の打合せを行います。委員長、委員の皆様は出席をお願いいたします。

出席報告 (應地例会運営委員長)

本日の会員数27名  
 (出席規定免除会員9名)  
 出席会員数24名  
 (出席規定免除会員8名)  
 92.31%  
 5/19 76.92%  
 MU:なし

ニコニコ箱の報告 (中村SAA)

中元君:嶋田国際奉仕委員長をはじめ、韓国国際大会へ参加された皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。  
 上野山(栄)君:国際大会にご参加いただいた皆様、お

つかれさまでした。樫畑ガバナーノミニー様、ようこそ有田RCへ。本日、成戸さん、嶋田ひでさん、初めての卓話よろしくお願ひします。

国際大会参加者一同:無事に元気に帰ってこれました。世界はひとつ、手に手をとって進みましょう!!ウオンが残りました。日本円でニコニコします。

松村君:成戸さん、嶋田ひでさん、卓話楽しみです。上野山栄作さん、嶋田崇さん、橋爪誠治さん、国際大会の旅行でお世話になりました。樫畑直尚様、有田RCへようこそお越し下さいました。

橋爪(誠)君:成戸さん、嶋田ひでさん、初めての卓話がんばって下さいね。勉強させていただきます。国際大会、貴重な経験&体験出来ました。ありがとうございます。

石垣君:成戸さん、嶋田ひでさん、卓話楽しみにしています。国際大会では中元会長はじめ皆様に大変御世話になりありがとうございます。

成川(守)君:樫畑さま、ようこそ有田RCへ。成戸さん、嶋田ひでさん、初めての卓話、ありがとうございます。

上野山(捷)君:成戸文子さん、嶋田ひでさん、本日の卓話楽しみにしています。国際大会に参加の皆様、大変お世話になりました。

脇村君:国際大会へ参加のみなさん、お疲れさまでした。実に楽しく有意義な3日間となりました。成戸さん、嶋田ひでさん、卓話よろしくお願ひします。

嶋田(崇)君:国際大会参加者のみなさま、ご苦労様でした。

井上君:先日の韓国旅行では貴重な体験をすることができました。

橋爪(正)君:成戸さん、嶋田ひでさん、初めての卓話、楽しみです。

上野山(英)君:成戸さん、嶋田ひでさん、本日卓話楽しみです。

児島君:成戸さん、嶋田ひでさん、卓話楽しみです。

岩橋君:成戸さん、嶋田ひでさん、卓話楽しみにしています。

岩本君:成戸様、嶋田様、本日の卓話楽しみにしています。

應地君:成戸さん、嶋田さん、卓話を楽しみにしています。

酒井君:成戸さん、嶋田ひでさん、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

宮井君:成戸さん、嶋田ひでさん、本日の卓話楽しみです。

橋本君:ソウル開催のロータリークラブ国際大会に参加し、多くのロータリアンと知り合いになれたいへん有意義な時間をもてました。幹事役の嶋田さん、栄作さん、誠治さんありがとうございました。

中村君:成戸さん、嶋田ひでさん、本日の卓話楽しみです。樫畑様、ようこそ有田RCへ。

## 「座右の銘」



会員  
成戸 文子 君

和歌山市から有田に嫁いでもう45年になろうとしています。団塊の世代に生まれ、和歌山城の近くの伏虎中学校では1クラス55人制の18クラスものマンモス校の中、切磋琢磨して学生時代を過ごしてまいりました。長女だった私は、両親、祖母の愛も深く、早く嫁がせたいと思うやら、寂しいやら、複雑な気持ちで送りだしたようです。母は私に「身を削り 人につくさんすりこぎの その味知れる人ぞ尊し」と朱色の円形の額に入れた色紙を持たせてくれました。今も私の寝室の飾っています。

この年齢になって、少しはその意味も解ってきたかな・・・という想いでいます。“自分の口から出た言葉は、必ず自分に返ってくる”という教えの元、とても厳しいしつけをしてくれた母でした。

嫁いでの私の人生は大変な時期も多々ありましたが、「念ずれば花開く」の心で忍んでこれたような気がします。いつも、心にどうありたいか、どうしてゆきたいかを問いかけ、それに向けて明るく前向きだったと思います。大変なことが多くあった分、家族一丸となって力を合わせてこれたように思いますし、感謝の気持ちでいっぱいです。

二人の姉弟ですが、長女は(株)ふみこ農園のネット販売部を、長男は(株)ナルトを私たち夫婦の頃より、ずっと前向きに進んでくれています。そして何より多くの方々を支えてもらった人生であったと思います。

沢山の方々との出会い、そして、沢山の方々のおかげ、歩ませてもらっている事に大きな感謝です。

私も母のまねをして、二人の子供の旅立ちには“心清達事”(心きよらかにして 事、達成す)と掛け軸を持たせました。そうあってもらいたいと祈りながら・・・。

そして自分自身はこれからは仏教用語である“而今(ちこん)”という言葉のように、今、この一瞬を精一杯生きる“而今”という言葉に心を、生きていけたらと願っています。



## 「花と私」



会員  
嶋田 ひで 君

今日は、私と花の関わりについてお話しをしたいと思います。

小学生の頃の私は近くの山でよく遊んでいました。スミレの咲く石垣もよく覚えていました。中学時代は電車通学でしたが、車外の景色に興味があり、春の藤や桐の花が特に好きでした。初めて花の種を蒔いたのもこの頃です。学校が早く終わって友達の家遊びに行った時、玄関の花壇に芥子の花が満開だったのを見て、すごくびっくりしました。友達の親に苗や種をどこで買ったらいいか教えてもらい、キンレンカという花を育てました。

高校では華道部に所属していました。その当時の思い出の花はトリカブトです。とても綺麗な青い色の高貴な花姿でした。

就職してからアートフラワーを習いに行きました。アートフラワーで造られた本物そっくりのリンドウの鉢植との出会いは私にとって衝撃的でした。毎日花を造り、至福の時を過ごしました。

結婚後、仕事や家事で忙しかったのですが、20年前から生け花教室に通っています。玄関に花を生けるのも楽しみの一つで、一年中花を切らさないようにしています。

50歳を過ぎた頃、仕事ばかり一生懸命にしていた私には、地域や社会のお世話になるばかりだったことに気が付きました。その頃は仕事もしていたので自由な時間はあまりなかったのですが、庭に花をもっとたくさん植えようと思いつきました。以前、入院した時にとっても退屈でつまらない時間を過ごしたことがあります。私の家の庭は、ちょうど有田市民病院から見える位置にありますので、入院患者さん達がこの庭を見て、少しでも気持ちが和んでもらえればと思い庭づくりを始めました。一度、一日で庭の花を植え替えびっくりさせてみようと頑張ったのですが、あまりの大変さに腰を痛めました。

最近は、花を見に行く旅行ツアーもたくさんあります。観光名所となり地域活性化につながっているところもあります。花にはそれだけの魅力があるのだと思います。有田市にもたくさん花が咲いている場所があるといいなと思っています。

これからも、大好きな花を育て、愛していきたいと思えます。今の私のちいさな幸せは、庭の花を見ながら朝食を摂ることです。